

「灰ヶ峰登山路整備の10周年」発刊にあたり

サポート・トレッキング・グループ 会長 宮 岡 泰 久
(広島県森林インストラクター)

資金の裏づけもなく結成して10年、何かと相談・ご指導いただいた呉農林事務所(現西部農林水産事務所)・市役所・県会議員をはじめ、みなさんの力添えをいただきました。

また、会員のみなさまを初めボランティアの方々の奮闘が結集されて今日を迎える事ができました、この10年いろいろな方のお世話になりありがとうございます。

発刊にあたりご多忙のところ、呉市長をはじめ諸先生から身に余る祝辞をいただき誠に有難うございます。

この冊子がこれまでの実績を踏まえて、これからの活動に生かせるきっかけ作りになることを祈願します。

これからもどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

当会は中国自然歩道 主に灰が峰ルートを中心にボランティアで整備しています。呉駅前から北側に見える「灰が峰」山頂から360度の展望 標高 737m(郵便番号と同じ)の頂上まで自宅から歩いて2時間 車で20分と近く、風光明媚な素敵な山です。自宅に近く往復時間が少なく、私たちが整備するには効率が良いところです。広島市内にもいろいろな森林ボランティアがあるので、以前は他団体に参加していましたが、往復の移動時間だけで数時間を費消するよりも、近くの整備をする事にしました。

約30数年前、自宅のある団地の裏山で山道に巻尺と図面を持った二人づれがせっせと図っては、数字の記入を繰り返しているのを見かけ、何をしているのかと思ったところ、後日、広島県自然歩道保護課が中国自然歩道 灰が峰ルート『政敵団地～大庭山～八畳岩』の階段の測量をしていた事が判明しました。

中国自然歩道が出来ておよそ28年 『自然歩道利用ガイド』(昭和58年3月 広島県林務部自然保護課発行)が出版されたのを機にガイドを片手に自然歩道を歩き、一人で補修できるところは整備して、写真を撮影して県自然保護係に報告していました。

平成3年某所から歩道整備に必要な「鉋・鋸・カップ・長靴」を寄贈されて感激。以後、鎌・鍬・鉋・鋸・携帯スコップなどをリュクサックに詰めて自然歩道を歩きました。

私は、平成7年県知事から広島県森林インストラクターの認定を受けました。ある時、中国自然歩道[絵下山ルート]の「二艘木」では、オートバイのサーキット代わりに自然歩道を走り回って、歩道の階段がめっちゃくちゃになっていました、個人の手仕事では整備ができそうになく、呉農林事務所に改善を要望するも、いろよい返事がもらえなかった。その後、所轄の広島農林事務所あてに改善要望書(写真添付)を提出しておきました。

また、平成11年呉市役所主催の「呉市森林サポーター育成講座」が開催され、5名が修了。その内の一人 氏らと手入れのない登山路を整備する「山路逍遥会」という名のボランティアを結成して、4名でスタート。その後 氏が例会に不参加で困っているとき、更に呉農林事務所から「役所への出入り禁止」を通告され、驚きました。出入り禁止のわけは、氏が中国自然歩道を「二輪車の通行禁

止」すべしと役所に強く要求した際、感情のもつれから役所側を立腹させてしまった模様、やむなく例会で、みんなと協議して改組 『サポート・トレッキング・グループ』に変更しました。

活動状況が「ひろしま県民だより」や新聞などに掲載され、インターネットで調べて入会した人、会員の進めで入会した人、電話で照会して入会した人、例会で作業中に会った人の入会など、次第に会員が増加して現在は30名(会員の平均年齢 67歳)になりました。参加しないことには活動にならないので、参加していただける人を如何に多く増やせるかが課題です。何はともあれ忙しい中で例会に参加していただくことは大変ありがたいことです。

登山路も以前は、背丈を超え、人が埋もれるほどの雑草に恐怖を感じながら草刈をしてきたものですが、お蔭様で現在は登山路も、公園も随分改善できました。

道具を購入する資金もなく、中古の鎌を県で借り受けては、活動しました。結成後しばらくは、寒い1月・2月は休会としていましたが整備が間に合わず、1・2月も例会を開いて活動することにして、盛夏の7・8月だけは、原則として休会としています。

私たちの活動は、誰でも出来る草刈、ゴミ拾い、横断溝の堀戻し、水路づくり、路にはみ出た枝木の切断、倒木の切断・撤去、路肩の補強(杭を打ち込み番線で締めて固定)、階段の増設、横断溝の増設、竹林の伐採、道標の設置等々。女性の会員には落ち葉の撤去など力仕事にならないよう配慮しています。

整備実施にあたっては、呉農林事務所や呉市役所と話し合ってきたつもりですが、ある例会当日、「灰ヶ峰」山頂から〔バラスの山〕が消えていました。バラスで登山路の階段の凹地を埋めるのがその日の作業であったため、例会に集合したものの「バラス」がなく、作業が出来なくて、灰ヶ峰山頂で全員を困らせてしまいました。急遽、みんなを待たせて、私が自宅まで草刈道具類を取りに帰って引き返し、場所・作業内容を変更して、やっと作業ができたという苦い経験もありました。

本会は、市や県で、手の届かないところを主体に整備を続けて10年になります、今後もこの事業を会員のみなさんと共に続けていきたいと思えます。

身近にある野山を手軽に楽しむトレッキングを兼ねて、毎月 第一日曜日 現地に午前9時集合 正午 解散を原則として、地味ながら永続きのする活動を続けています。

自由意志で山などの整備に無報酬で働くということは、自然保護に協力していることになり、参加者が気持ちの良い汗を掻いて気分爽快になり、体力づくりにも役立ち、会員相互の親睦も図れる、環境の整備にも貢献しているという大変有意義な活動をしていると自負しています。

作業中に会ったハイカーから「登山路が良く整備されて、大変歩きやすい。」「ボランティアで整備されるとは、大変有難く感謝します。」「いつも整備ありがとうございます」等々声をかけられると、会員が働き甲斐を強く感じます。

当会以外にも、同じような活動をされている方もおられますが、それぞれの地域に同じようなボランティア組織ができることが自然保護の推進にとって、理想的な形と思います、できれば情報交換しながら、今、自分たちでできる事から協働活動の輪を広げて継続していきたいと思えます。会員のみなさんでしっかりサポートしていただき、より良い活動、より良い成果を挙げ、一人でも多くの仲間を増やして、本会の更なる発展を祈念し、より一層社会貢献になるよう努力しようではありませんか。